

認知機能検査をよりわかりやすく、簡単に

## 認知機能検査を、問診式からアプリケーションに

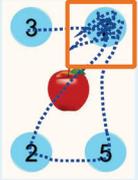


## 見るだけで認知機能が評価できる仕組み

- 1 タブレットのフロントカメラが視線を捕捉
- 2 スクリーンにタスク映像が表示され、被検者が視線で回答

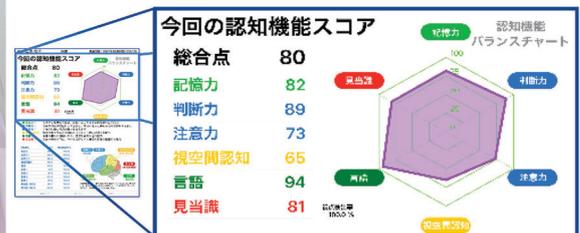
## 視点を使った評価

記録された全視点数に占める正解エリア内の視点数の割合により、認知機能スコアを自動算出



## さまざまな認知機能を評価

認知機能の総合評価のほか、「記憶力」、「判断力」、「注意力」、「視空間認知」、「言語」、「見当識」の評価が可能



## 事業概要

社会的な課題である認知症の早期発見・早期治療に対応すべく、視線情報を活用した「アイトラッキング式認知機能評価法」を開発し、医療機器ソフトウェア（薬事承認済）としての実用化を進めている。認知症の発症・重症化予防のための早期診断の拡大、患者のストレス軽減、医療従事者の負担軽減につながる事が期待される。

## 製品・サービス例

「アイトラッキング式認知機能評価法」は、タブレットに表示されるタスク映像に視線で回答し、記録された全視点に占める正解エリアの視点数に基づき、認知機能を定量評価するプログラムである。従来の問診での検査との相関性も示されており、妥当性が高く、短時間（約3分間）かつ非侵襲性の新しい認知機能検査である。

## 保有技術

「アイトラッキング式認知機能評価法」は大阪大学大学院医学系研究科 武田朱公准教授の研究プロジェクトである「視線検出技術を利用した簡易認知機能スクリーニングシステムの開発による社会システムの負荷軽減」の成果を基盤技術としている。特許などの知的財産は出願人である大阪大学より独占的な実施権を取得している。

## 代表者メッセージ

高齢化が進む中、認知症の早期発見・早期治療は日本国内だけでなく、世界的な課題となっている。特に人口増加の著しいアジア諸国では医療資源が不足していることもあり、簡易で利便性の高い認知機能検査の需要は高い。これらを踏まえ、高齢者課題先進国である日本から新しい認知機能評価法を世界に発信していきたい。

所在地 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番8号 大阪大学テクノアライアンスC棟 C801/802

代表者 高村 健太郎

設立 2019/11/13

関連大学 大阪大学

アクセス先 <https://www.ai-brainscience.co.jp/>